

# 本会議・予算常任委員会 6月定例会で審議された補正予算

## 補正予算の主な内容

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	4,258万円	ひとり親世帯や住民税非課税世帯などに対する支援。 子ども1人あたり5万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	2,506万円	ワクチン接種業務に従事する職員経費やネット予約に関する費用、バスの借上料など
再生可能エネルギー導入促進事業費	20万円	民間企業による玉川地内での小水力発電への出資金
サテライトオフィス誘致促進事業費 (地方創生推進交付金)	1,288万円	企業のサテライトオフィス誘致とデジタル人材育成のための委託経費
メカ回地等大規模園芸拠点育成事業費補助金	1,006万円	神代地区のネギの大規模育苗ハウスの整備に対する補助。
農業者研修集会所施設管理運営費	2,107万円	雲沢集落センターの屋根の全面改修経費
平福記念美術館冷温水発生機更新事業費	4,946万円	平福記念美術館の冷温水機更新工事
仙北市学校給食応援事業費	2,756万円	新型コロナによる親の経済負担軽減のため、7月～10月の給食費を減免
仙北市感染予防対策支援事業費補助金	750万円	県の認証制度と連動し衛生環境整備に取り組む飲食店等を支援。 補助上限10万円
2021仙北市プレミアム宿泊支援事業費	1,058万円	市内の宿泊施設に宿泊する際に使用できる県民限定値引券を独自発行。 1人3,000円×3,000人分

## 本会議・予算委員会での質疑

**小水力発電に出資  
その狙いと効果は？**

**質問** 再生可能エネルギー導入支援事業費として玉川地内で民間事業者が行う小水力発電に20万円を出資するが、この狙いと効果を問う。

**答弁** 市内企業などが出資する「あきた仙北水力発電㈱」により、玉川地内の濁沢に最大出力395kwの濁沢第一発電所、695kwの濁沢第二発電所が建設されるもので、予定では令和4年度の工事着工となる。売電開始は令和6年度以降で、事業期間を40年としている。

今回計画された小水力発電は、国の電力固定買取制度(FIT制度)の活用有無に大きく左右される。計画では、「あきた仙北水力発電㈱」から市に対し、FIT制度期間の20年にわたり、年間約1,100万円、合計2.2億円を地域振興基金として寄付したいとの申し出がある。

市としては、頂いた基金を森林資源の保全、田沢湖再生などの他、市民生活の向上に活用していきたい。

**サテライトオフィス誘致促進事業  
具体的に何を行うのか？**

**質問** サテライトオフィス誘致促進事業として1,288万円を計上している

が、事業の具体的な内容を問う。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、首都圏企業では地方へのサテライトオフィス設置について注目している。本事業ではこうした企業ニーズを捉え、市内へのサテライトオフィス設置を促進し、若者の雇用機会の確保と定住人口増を目指す。

具体的内容としては、サテライトオフィス誘致戦略の策定と企業のニーズ調査のため、モニターツアーの実施や、「新型モビリティサービス事業化調査・企画委託」として、仙北市における移動の現状と課題を整理し、AIによる運行管理やアプリ等による料金決済等を活用し、テレワークやワーケーションで訪問される方向けのオンデマンド型移動サービス導入について調査したい。

また、「デジタル人材育成研修企画・運営委託」として、最先端技術を活用しサテライトオフィスを設置する企業で活躍できる人材の育成を図りたい。主に高校生や社会人を対象としたデジタル人材育成の研修を実施するほか、小中学生を対象にした研修会、高齢者向けのスマートフォン講座も予定している。期間は令和3年度から5年度までの3年間である。